

「せんがわ劇場 夏の文化祭」

八月一日〜三日の間に開催された第二十八回「おらほせんがわ夏まつり」。せんがわ劇場も開館以来参加してきましたが、今年のせんがわ劇場はちょっと違いました。

今回は、「せんがわ劇場 夏の文化祭」と題して、恒例の綿菓子、フリーマーケットに加え、ホール公演、商店街通りパレード参加、フル出場。さらに二日は駅前でのゲリラパフォーマンスも。三日間の企画の一端をご紹介します。



綿菓子プレゼント
劇場エントランスで三日間行い、仙川駅前や商店街で配布した引換券を持って、ちびっ子がちがたくさん並んでくれました。中には、初めて綿菓子ができるのを見た子も。機械の中から雲のように綿菓子が湧き上がってくるのを興味津々に見つめていました。



方にお越しいただきました。

■ホール公演

「せんがわ劇場 夏の文化祭」のメインイベントは、八月一日と二日の無料の演劇公演。出演は、調布市立第六中学校演劇部の皆さんと、昨年の演劇コンクールでグランプリを受賞した劇団「シアターモーメント」の皆さん。六中演劇部は「新・ゲームオーバー」、シアターモーメントは受賞作品「パニック」を上演。迫力の舞台に来場された皆様も大満足でした。

■フラッシュ・モブ

そして、今回の新企画「フラッシュ・モブ」。八月二日昼下がり、仙川駅前で、突然のパフォーマンスが始まりました（↑写真上）。参加したのは、六中演劇部の生徒さん、シアターモーメントの役者の皆さん、そして市民サポーターの皆さん、そして市民サポーターの混成チーム。初顔合わせとは思えない抜群のチームワークで、偶然駅前いらした皆さんにも楽しんでいただけました。

■商店街通りパレード

せんがわ劇場選抜チームが「Let It Go」をテーマに振り付

■フリーマーケット
綿菓子と並んで劇場エントランスでは、フリーマーケットを開催。「おらほせんがわ夏祭り」のイベント開催時間の前から炎天下、たくさんの



パレードの先頭を華麗に彩ったパフォーマンス集団・たまごのみなさん。

市民サポーター紹介

今回の市民サポーター紹介は、毎年「おらほせんがわ夏まつり」には欠かせない存在の大菊健太さんです。お祭り中はパンダの着ぐるみがトレードマークですが、素顔はとっても二枚目の好青年。日頃より、子どもから年配の方まで、すべてのサポーターから頼りにされています。

今年はせんがわ劇場おらほチームの衣装を、パンダの着ぐるみでビデオ取材中の大菊さん（右）



けつまでパレードに参加しました（写真左上）。映画「アナと雪の女王」にちなんで、「雪の女王」の衣装をはじめ、せんがわ劇場の歴代公演で使用した衣装に身を包んで、劇場のお隣の仙川保育園の親子チームの皆さんにもご参加いただきました。かわいい衣装を着たちびっ子たちは、シャボン玉で花を添えます。浴道からも「かわいいく」という声が上がっていました。

夏休み子ども表現ワークショップ
成果発表公演
ナツノキラク

1 盆踊り	5 あーぶくたつた	9 ケンカと仲直り
2 うちわダンス	6 オバケ	10 すみこ
3 ヨーヨー	7 当たりダンス	11 カンパダンス
4 お面ダンス	8 屋台	

8月4日から始まった夏休み子ども表現ワークショップ。最終日の9日、講師のスズキ拓朗さん演出・振付による成果発表公演「ナツノキラク」が上演されました。スズキさんは、第1回せんがわ劇場演劇コンクールでオーディエンス賞を受賞され、第5回演劇コンクールでは審査員を務めた他、



→ 独創的な表現のタイトルが並び、成果発表公演のプログラム。子どもたちの自主性と創意工夫を重んじた結果です

せんがわ劇場の数々の演劇公演に振付や出演等で関わっています。「子どもたちと話し合いながらタイトルや振付を決めていきました」とスズキさん。子どもたちの生き生きとした表情が印象的な舞台となりました。